



小郡市立小郡中学校 令和7年8月6日
小郡中学校だより 第242号
校長 山本 拓



学校教育目標 ～自ら学び 共に高め合う 心豊かでたくましい生徒の育成～

願うだけでは平和はおとずれない。平和をつくるのは私たちです。

ヒロシマは、8月6日、ナガサキは、8月9日、被爆から80年となる「原爆の日」を迎えます。みなさんもお存じのとおり、8月6日は原爆でお亡くなりになった方々を偲び、戦争や核兵器の恐ろしさや悲しさを伝えていくために、広島市の平和記念講演で平和記念式典が行われています。式典の中で小学生2名が代表となり、「平和への誓い」を朗読しています。今年の「平和への誓い」の一部を紹介します。

平和への誓い

令和6年（2024年）8月6日

目を閉じて想像してください。

緑豊かで美しいまち。人々にぎわう商店街。まちにあふれるたくさんの笑顔。

79年前の広島には、今と変わらない色鮮やかな日常がありました。

昭和20年（1945年）8月6日午前8時15分。

「ドーン！」という鼓膜が破れるほどの大きな音。

立ち昇る黒味がかかった朱色の雲。

人も草木も焼かれ、助けを求める声と絶望の涙で、まちは埋め尽くされました。

ある被爆者は言います。あの時の広島は「地獄」だったと。

原子爆弾は、色鮮やかな日常を奪い、広島を灰色の世界へと変えてしまったのです。

被爆者である私の曾祖母は、当時の様子を語ろうとはしませんでした。

言葉にすることさえつらく悲しい記憶は、79年経った今でも多くの被爆者を苦しめ続けています。

今もなお、世界では戦争が続いています。

79年前と同じように、生きたくても生きることができなかった人たち、

明日を共に過ごすはずだった人を失った人たちが、この世界のどこかにいるのです。

本当にこのままでよいのでしょうか。

願うだけでは、平和はおとずれません。

色鮮やかな日常を守り、平和をつくっていくのは私たちです。

一人一人が相手の話をよく聞くこと。

「違い」を「良さ」と捉え、自分の考えを見直すこと。

仲間と協力し、一つのことを成し遂げること。

私たちにもできる平和への一歩です。

さあ、ヒロシマを共に学び、感じましょう。

平和記念資料館を見学し、被爆者の言葉に触れてください。

そして、家族や友だちと平和の尊さや命の重みについて語り合いましょう。

世界を変える平和への一歩を今、踏み出します

「平和への誓い」の中で、「願うだけでは、平和はおとずれない。色鮮やかな日常を守り、平和をつくっていくのは私たちです。」と語られています。『一人一人が相手の話をよく聞くこと。「違い」を「良さ」と捉え、自分の考えを見直すこと。仲間と協力し、一つのことを成し遂げること。』を日常の中で意識して実行していくことが、私たちにできる平和への一歩だということを教えてくれています。この小郡中で、日頃からみなさんが大切にしていることが、平和へつながっていることを忘れてはなりません。

感動で熱い夏！ 各種大会の結果

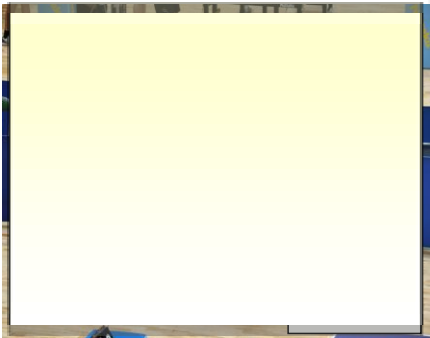
前号で紹介した女子バスケットボール部、ソフトボール部に続き、サッカー部、男女卓球部、男子バレーボール部が中体連筑後地区大会に出場しました。

また、水泳と男女卓球部が福岡県大会に出場することができました。満足のいくプレーができた人や悔いが残った人など思いは様々でしょうが、この経験は、今後の人生の肥やしになるはずです。みなさんのこれまでの努力に敬意を表します。

吹奏楽部は、久留米シティプラザで行われた地区吹奏楽コンクールで素晴らしい演奏を披露して、8月4日(月)、5日(火)に福岡サンパレスで行われた福岡吹奏楽コンクールへの推薦をもらい、出場することができました。吹奏楽部のみなさんは、毎日練習を重ね、豊かな表現力で心のこもった演奏を福岡大会でも披露してくれました。

大変暑い中でも、これまでに様々な大会やコンクールにたくさんの保護者の方々が、応援していただき、子どもたちの支えとなりました。

心から感謝申し上げます。



筑後地区中学校総合体育大会結果

部活動名	本校の成績
ソフトボール	惜敗
バスケットボール女	惜敗
サッカー	惜敗
バレーボール男	惜敗
卓球男	
卓球女	【団体】5位

福岡県中学校総合体育大会結果

部活動名	本校の成績
卓球男	【団体】惜敗
卓球女	【団体】惜敗
水泳	

